

宮部文庫の活用を

Q 貴重な高額寄付金によって設立された宮部文庫。蔵書の選書方針やその活用・住民への周知の方法は。

A 家族・ふるさと・友情などをテーマに2千冊程度の蔵書を購入予定。住民ニーズに応じて文庫の広報を検討する。

契約事務事業について

Q 特別会計を含む契約変更による増額が日常的に発生している。一般企業ではありえないことである。

A 工事中に予想し得ない事が突発的に発生する。時間的な問題もあるが、設計段階でも注意しながら取り組む。

LED化で省エネ移行を

Q 庁舎施設の電気代が値上げにより高くなっている。多数ある照明灯をLED化にする進展はどうか。

A 27年度に第2庁舎の改修工事を予定している。照明をLED電球にすることを考え、設計中である。

がん検診の助成額増額を

Q 住民健診の受診率は全体に低い。特に、乳がん検診の受診率が低いので、自己負担の助成額を拡大するべきでは。

A 受診率の向上を目指す方針だが、乳がん検診の助成額の増加は考えていない。

要援護者実態調査の管理は

Q 要援護者の実態調査データ管理や、その後の状況変化の捉え方とデータの補足は重要と考えるが、調査結果の管理は。

A データは厳重に管理している。変化については、3年毎に全員を調査しており、年齢到達者には追加で調査を実施している。

要援護者の避難は

Q 要援護者実態調査で避難できないと回答した方に、誰がどのように避難を助けるかを伝えているのか。

A 民生委員・自主防災組織などの「誰」ということは無理。地域での助け合いをお願いしたい。



▲図書館に設置された宮部文庫



▲北池広場防災行政無線



▲蓮池小開錠ボックス



▲総合体育館

住基カードの取り扱い

Q 住基カードを無料で交付しているが、マイナンバーカードの交付が始まれば、取り扱いはどうなるのか。

A 平成28年1月から希望者にマイナンバーカードを交付予定。住基カードは有効期限まで証明書として利用可能。

委員の選任は適正か

Q 評価を下す行政改革懇談会委員に評価を受ける立場の指定管理者がなっているのは問題では。

A 社会福祉協議会や商工会も入っており、問題ないものと認識している。

防災行政無線は機能するのか

Q 窓を開けていても防災行政無線の放送内容が聞き取れない。災害時の伝達に機能するように整備するべき。

A 防災に関する情報は、防災行政無線での放送と併せて、防災メールなどでも情報を伝達する。

避難所の解錠方法は

Q 蓮池小学校避難所運営マニュアルが自動解錠ボックスを使った解錠から変更された。最新技術を活用すべきでは。

A 他の小中学校と同様のため、クリッパーを使う解錠方式に改めた。予算の上でも少額ですむ。

子連協行事の参加は

Q 子ども会には、小学生の7割程度しか加入していない。加入しなければドッジボール大会などに参加できないのか。

A 子ども会に加入していない児童は、子ども育成連絡協議会が主催する大会には参加できない。

体育館は計画的に改修を

Q 経年劣化の進んでいる総合体育館の改修は、他の施設と同様に長期的な計画を立てて実施すべきでは。

A 計画の必要性は認識している。今後の利用ニーズも踏まえた長寿命化計画を研究したい。